

中間報告(ばばのばPJ)

私達が今年度掲げるテーマは「人と人を繋ぐ」。

当プロジェクトは昨年度に引き続き、鳥取県鳥取市馬場町に拠点を置き、駄菓子を中心に年配の方から小さな子供達まで、世代間交流を活発にできるよう、様々な活動を展開してきた。今年度は以下のような指針を基軸に行った。

- ② 多世代間での交流を促進する。
- ① 当プロジェクトを起点にコミュニティの核を再構築する。
- ② 馬場町が位置する久松地区の地域の方々と協働した活動にする。
- ③ 補助金をいれずともプロジェクトを継続的に進められるような資金調達のプロセスを確立する。
- ④ 持続可能な活動にする事に加えて自分達で自立した活動を目指す。

以下、今年度行った活動内容について明記する。尚、イベントについては補助金対象期間外である、4月～も毎月行っていた(対象期間のみ記述)

イベント①

7月24日 12:00～16:00

対象者:スタッフ14人

県内在住者、年齢制限なし➡参加人数41人

実施場所:産後ケア「やわらかい風」

活動内容:駄菓子販売 / イベント「七夕編～ばばのクラフト」&ふよふよボールすくい

7月イベントでは駄菓子販売とばばのクラフトを開催。今回のばばのクラフトとは“風鈴づくり”を実施。七夕からは少し時期が遅れてしまったが、地域の人にご協力いただき笹の現物に飾りつけや短冊を書いて貰うなど七夕メインで行った。この日の来場者の客層としては、子供連れが多く保護者の方同士がお話されている間の待ち時間として短冊を書いて貰ったりクラフトをして貰ったりと空間を有効に活用出来た気がしている。風鈴づくりでは、小さな年齢の子供たちでも出来るよう、年齢ごとに難易度を変えてみるなど工夫。昨年度とは異なり、地域の人達とのコネクトが出来た事で笹の現物が手に入るなど繋がり構築が出来て来ている事を実感した。駄菓子販売についても、世代ごとに人気なお菓子を再調査し、より来て下さる方々のニーズに応えられるようにした。昨年度と比べて、メンバーの人数も増えた事で、イベントなどで出来る内容にも幅が広がったのは確かだと感じている。その一例として、今回のふよふよボールすくいは、お祭りなどがコロナの関係で中止されている地域が多かったため、何か出来ないかと考えた結果思いついた物だった。

イベント②

9月25日 11:30～16:00

対象者:スタッフ7人

県内在住者,年齢制限なし➡参加人数43人

実施場所:産後ケア「やわらかい風

活動内容:駄菓子販売 / イベント「ばばのクラフト」

8月は台風の関係でお休みした為、9月は必ずイベントをしようと企画していた。雨が降る事も予想されていた事から、室内で出来るイベントを企画。7月に引き続きになるがばばのクラフトを開催する事になった。今回は鳥取の和紙を使った、灯籠作り。和紙は、後述記載する谷地区でのイベントの際に頂いたものを使用。本来であれば、神社などに置かせて頂き、ともしび会までやりたかったのだが、コロナの関係で中止せざる負えなかった。親御さん達の話の聞いていると、自分の地域でもやって欲しいとか、こういう場所があるのっていいねという事を言われる機会が多くなったように感じている。

イベント③ 出張ばばのば

8月21日 13:00~20:30

対象者:スタッフ7人

主に鳥取市国府町谷地区にお住まいの方

参加人数:子ども~高齢者まで含めて、127人

実施場所:谷地区公民館

活動内容:駄菓子販売 / イベント「ばばのクラフト」

今回はご依頼があり、谷地区に出張ばばのば。はじめての出張であったが、なんとか形になった。色んな地域にはいる事によって普段感じる事が出来ない特別感を学生自身も味わう事が出来た気がしている。今回は、谷地区の自治会長さんを始め、地域の方とかなりコラボする事が出来たし、一緒にというのを特に強調して出来たと感じている。加えて、地域の方の協力もあり、国府町の観音様の境内に灯籠ともしび会を開催できた。

イベント④ 風紋祭

10月8日~10月10日

対象者:鳥取大学の学生並びに、地域の人達

活動内容:駄菓子販売

鳥取県鳥取市県民参画協働課の皆様より、出店のご依頼

イベント⑤ 鳥乃会イベントへの出張ばばのば

10月29日 11:30~16:00

対象者:県内在住者,年齢制限なし

実施場所:鳥取駅前サンロード

活動内容:駄菓子販売

昨年度からの繋がり、株式会社まるにわ代表取締役の齋藤さんよりお声かけ頂き出店。これまでとは違い、商店街の中心部での出店を経験し、どんなニーズに応えるべきなのか何が求められているのか、学生自身も改めて考えるきっかけを得られた他、駄菓子の可能性を確立。加えて普段は関わることが出来ない大人の方と関わる機会が得られた。

イベント⑥ 河原の道の駅清流茶屋 南商工会議所イベント出張ばばのば

10月30日 10:00~16:00

対象者: 県内在住者, 年齢制限なし

活動内容: 駄菓子販売

昨年度の活動の様子を風紋(大学の広報誌)を元に知り、商工会の方々にお声かけ頂いた。繋がりはもちろん出来るが、このイベントでは参加した学生それぞれが発言する機会があり、思いの共有が出来たという面でも良かったのかもしれない。駄菓子屋をただやるだけでなく、交流と言った面から視点を変えて、子ども達に売り子をして貰うイベントに変換。子供たちにとっても選ぶ楽しさだけでなく、売る楽しさを学んでもらういい機会になったと感じている。

イベント⑦ frontier × ばばのば オンライン交流会

10月13日 21:00~22:00

対象者: frontier school とばばのばのメンバー27人

活動内容: 交流会

- ① 恋愛について簡単に(ウォーミングアップ)
- ② あなたが考える地域ってどんな地域?
- ③ ばばのばと frontier school で何かをするなら何がしたい?

この企画を行おうと思ったきっかけは、継続性・持続性のある授業にする為の育成事業という形で考えた。後輩を育て、引き継げる形態を整える事もプロジェクトとしては非常に大事な事であると思う。学生側からは、色々な意見や視野を知る事が出来て良かったという意見があったほか、時間があっという間に過ぎてしまったと残念がる声もあった。ただ、交流会をするだけでなく、同じような世代で頑張っている学生同士だからこそ分かり合える部分もあると思う。そこをうまくマッチさせる事が出来たと感じている。

イベント⑧ ゴミ拾いプロジェクト

8月25日 13:00~15:00

対象者: ばばのばメンバー・湖山地域の人

活動内容: ゴミ拾い

今回は、まずはいつもお世話になっている湖山地域から綺麗にしたい、また感謝の気持ちを形として表したいという声があり、ゴミ拾いプロジェクト部門を作った。ゴミ拾いをする中で地域の人達とコミュニケーションが取れた他、ゴミ拾いをきっかけに互いのことを知る事が出来た。

※今後の予定として、

のらねこ×ばばのぼ オンライン交流会第二弾

活動内容:

鹿児島県を拠点とし各地に出てしまった大学生が同じ理念をかかげ、自分達の地元である種子島をよくしよう、また守ろうとされている学生団体さんとのコラボを予定。ただ話すだけでなくここで大事にしたいのは「自分の思い描く理想の地域の像を確立させる」。私達はばばのぼをしていく中で、何を目指しているのか、それは地域の人達にとって求められている事なのか、そこが不透明なままであったように思う。色々な地域で普段生活を送っておられる学生との交流を行う事で、自分にとっての地域の在り方を確立させ、よりばばのぼとして何をやっていきたいのかを考えてほしい。

ゴミ拾いプロジェクト第二弾

活動内容:馬場町・遷喬地区を中心にゴミ拾いプロジェクトを行う予定。